

## 大斎節第2主日（聖書協会共同訳）

全能の神よ、わたしたちは自らを助ける力のないことをあなたは知っておられます。どうか外は体を損なうすべての災いを防ぎ、内は魂を襲う悪念を除いてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

### 旧約聖書 創世記 22章1—14節

22:1 これらのことの後、神はアブラハムを試みられた。神が、「アブラハムよ」と呼びかけると、彼は、「はい、ここにおります」と答えた。2 神は言われた。「あなたの息子、あなたの愛する独り子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そして私が示す一つの山で、彼を焼き尽くすいけにえとして献げなさい。」3 アブラハムは朝早く起きて、ろばに鞍を置き、二人の従者と息子イサクを連れ、焼き尽くすいけにえに用いる薪を割り、神が示した場所へと出かけて行った。4 三日目になって、アブラハムが目を上げると、遠くにその場所が見えた。5 アブラハムは従者に言った。「ろばと一緒にここにいなさい。私と子どもはあそこまで行き、礼拝をしてまた戻って来る。」6 アブラハムは焼き尽くすいけにえに用いる薪を取って、息子イサクに背負わせ、自分は火と刃物を手に持った。こうして二人は一緒に歩いて行った。7 イサクが父のアブラハムに、「お父さん」と呼びかけると、彼は、「息子よ、何か」と答えた。そこでイサクは、「火と薪はここにありますが、焼き尽くすいけにえにする小羊はどこですか」と尋ねた。

8 するとアブラハムは、「息子よ、焼き尽くすいけにえの小羊は神ご自身が備えてくださる」と答え、二人はさらに続けて一緒に歩いて行った。

創 22:9 神が示された場所に着くと、アブラハムはそこに祭壇を築き、薪を並べ、息子イサクを縛って祭壇の薪の上に載せた。10 アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。11 すると、天から主の使いが呼びかけ、「アブラハム、アブラハム」と言った。彼が、「はい、ここにおります」と答えると、12 主の使いは言った。「その子に手を下してはならない。何もしてはならない。あなたが神を畏れる者であることが今、分かった。あなたは自分の息子、自分の独り子を私のために惜しまなかった。」13 アブラハムが目を上げて見ると、ちょうど一匹の雄羊がやぶに角を取られていた。アブラハムは行ってその雄羊を捕らえ、それを息子の代わりに焼き尽くすいけにえとして献げた。14 アブラハムはその場所をヤハウエ・イルエと名付けた。それは今日、「主の山に、備えあり」と言われている。

### 詩編 第16編

1 神よ、わたしを守ってください// わたしはみもとに逃れます

- 2 主に向かってわたしは叫ぶ「あなたはわたしの主 // あなたのほかに幸せはない」
- 3 地にある聖徒たちに // わたしの大きな喜びがある
- 4 ほかの神々のもとに走る者は苦しみを増す // わたしは血の祭りを献げず、その名を口にすることはしない
- 5 主よ、あなたはわたしの受ける譲り、わたしの受ける杯 // わたしの行方を決める方
- 6 測り縄はわたしのために良い所に落された // わたしの受けたものはすばらしい
- 7 わたしに勧めを与えてくださった主をたたえよう // 夜わたしは深く悟る
- 8 わたしは絶えず主を思う // 神はわたしの右におられ、わたしは揺るがない
- 9 心は喜びに満ち溢れ // 体は安らかに憩う
- 10 神よ、あなたはわたしを死の国に見捨てられず // あなたを敬う人が朽ち果てるのを望まれない
- 11 あなたは命の道を示してくださる // み前には溢れる喜び、みもとには永遠の楽しみがある

#### **使徒書 ローマの信徒への手紙 8章31－39節**

8:31 では、これらのことについて何と云うべきでしょう。神が味方なら、誰が私たちに敵対できますか。32 私たちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものを私たちに賜らないことがあるでしょうか。33 誰が神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。34 誰が罪に定めることができますでしょう。死んだ方、否、むしろ復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右におられ、私たちのために執り成してくださるのです。35 誰が、キリストの愛から私たちを引き離すことができますでしょう。苦難か、行き詰まりか、迫害か、飢えか、裸か、危険か、剣か。36 「私たちはあなたのゆえに、日夜、死にさらされ、屠られる羊と見なされています」と書いてあるとおりです。37 しかし、これらすべてのことにおいて、私たちは、私たちを愛してくださる方によって勝って余りあります。38 私は確信しています。死も命も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、39 高いものも深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできないのです。

#### **福音書 マルコによる福音書 8章31－38節**

8:31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちによって排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。32 しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエス

を脇へお連れして、いさめ始めた。33 イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人のことを思っている。」34 それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「私の後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を負って、私に従いなさい。35 自分の命を救おうと思う者は、それを失うが、私のため、また福音のために自分の命を失う者は、それを救うのである。36 人が全世界を手に入れても、自分の命を損なうなら、何の得があろうか。37 人はどんな代価を払って、その命を買い戻すことができようか。38 神に背いた罪深いこの時代に、私と私の言葉を恥じる者は、人の子もまた、父の栄光に輝いて聖なる天使たちと共に来るときに、その者を恥じるであろう。」